

第7回 深川市複合施設整備検討委員会 会議録

◎日 時 令和6年1月30日(火) 18:00~19:20

◎場 所 市役所 大会議室

◎出席者 委員11名、オブザーバー1社、設計業者2名、深川市(事務局)11名、傍聴0名、
報道機関2社

◎会議内容

1. 開会 司会：複合施設整備推進室長

2. 委員長あいさつ

- ・本年もよろしくお願ひ申し上げます。元旦の一家団欒の時に大きな震災が起き、能登の方は家が潰れ大変な思いをしている。深川市においては幸いにも穏やかな正月を迎えられており、深川市は災害が少なく、そういう街で暮らせることは幸せに感じる。複合施設整備検討委員会も回数を重ね、今回は基本設計の一部が示され、いろいろな意見を拝聴している。今回は基本設計の全体的な内容を検討していただき、建物の内装や外観についても忌憚のない意見をいただきながら、さらなる素晴らしい建物を作り上げていきたいと考えている。協力をお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

3. 報告事項 議長：委員長

(1) 経過報告

【委員長】

- ・議事の(1)基本設計書(案)の内容について、事務局より説明願う。

【事務局】

- ・資料1、基本設計書概要版(案)は前回委員会で一部提示しており、今回新たに示すページは黄色でハッチした項目となり、こちらを中心に説明する。
- ・その他のページは、前回委員会の意見などを踏まえ若干の修正を加えているものについて簡単に説明する。
- ・1ページ、1基本方針は前回示した内容から変更ないが、外観イメージ図を追加している。
- ・2ページ、2計画概要は平面計画を見直し、左側下表の延床面積が20㎡減り、2,570㎡としている。
- ・3ページ、3配置・動線計画、4階構成計画は前回から大きな変更はなく、右下の階構成図のうち、吹抜けの屋上部分に排煙窓の立ち上がりを追加した。
- ・4ページ、5平面計画は前回示しているが、若干の変更があった部分について説明する。
- ・1階は前回からの変更点として、中央の図面に各部屋の出入口を追加するなど、より詳細なものに変更している。その他の文言等については変更ない。
- ・5ページ、2階の変更点として、委員からの意見も踏まえ、多目的ホールの出入口をホール西側にも追加し2箇所としたほか、控室を通過してホールへの出入りも可能としている。
- ・また、調理室と研修室の行き来を容易にし、調理室で作った料理を研修室で振る舞うといった連携ができるよう、研修室の防音機能にも配慮しつつドアを設けることとした。
- ・その他については変更ない。
- ・6ページ、3階の変更点として、今回は図面左上の機械室を屋内機械室としていたが、屋外に設置し、面積を縮小することで倉庫を追加した。

- ・平面計画の主な変更点は以上となる。前回の委員会で火災時の避難経路や緊急時に対応できるエレベーターの広さなどについて意見をいただいたが、これらについて消防と事前に協議し、提示した規格・仕様で問題ないとのことから変更はない。
- ・7 ページ、6 立面計画は新たに追加したページとなる。
- ・外観のイメージや外装材の考え方、立面図を掲載している。
- ・建物四方に庇を設け門型としたほか、ガラス面を多くすることでにぎわいや開放感が感じられる外観とし、深川をイメージした土壁や縦ルーバーの設置を検討している。
- ・外装材は金属系とし、外断熱工法や複層ガラス等を採用することで高い断熱性能を確保する計画としている。
- ・8 ページ、7 断面計画及び8 環境配慮計画も新たに追加したページとなる。
- ・断面計画の内容は記載のとおりだが、天井高について、1 階は高めに設定し視認性の確保や開放感のあるつくりとしており、その他は記載のとおりとなる。
- ・環境配慮計画は、省エネ設備を導入することで一次エネルギー消費量40%削減を目指すとし、庇や複層ガラス等による熱負荷の低減や、LED 照明、センサー感知による不要点灯防止等によりエネルギー消費の抑制、太陽光パネルの設置による自然エネルギーの活用等を進める。
- ・9 ページ左側、9 内装計画は新たに追加した項目で、床材や壁、天井に使用する主な材料を記載したほか、ページ下側には1 階ロビーのイメージ図を掲載している。
- ・各部屋の用途に合わせた材料を選定するが、多くの方が訪れる1 階は、天井に木製ルーバーを使用するなど温かみのある空間とし、床材は耐久性に優れた自然素材のリノリウムを使用する計画としている。その他は記載のとおりとなる。
- ・ページ右側、10 ユニバーサルデザイン計画は前回示した内容に視覚障害者誘導ブロックの設置や引き戸の採用等の項目を加えたほか、参考例などを掲載した。
- ・10 ページ、11 構造計画は前回示した記載内容とほぼ変更ないが、ページ右下に架構イメージ図を新たに掲載している。
- ・11 ページ、12 設備計画は新たに追加したページとなる。
- ・ページ左側、電気設備では、3 点目に記載の災害時用としてLP ガス非常用発電機を設置するほか、太陽光パネルや公衆無線LAN、デジタルサイネージ等を設置する計画としている。
- ・ページ右側、機械設備では、熱源は液化石油ガスをメインとし、空調はガスヒートポンプエアコンの採用を検討している。
- ・なお、災害対応の部屋は電源自立型ガスヒートポンプを導入し、停電時でも冷暖房対応が可能となるよう検討している。
- ・12 ページ、13 概算事業費・工事工程表も新たに追加したページとなる。
- ・概算事業費は、建設工事費が19 億8,000 万円、その他費用で用地買収、外構、駅前アーケード建設、公民館解体費等の9 億7,000 万円、事業費合計は29 億5,000 万円を見込んでいる。
- ・ページ中段の全体事業工程表は、令和6 年度から令和10 年度までの事業全体のスケジュール（案）となり、設計・申請関係では来年度に実施設計と確認申請を進める。
- ・複合施設建設工事は、令和7 年度から令和8 年度にかけて建設を進める考えとしている。
- ・その他工事として、外構や現中央公民館の解体工事及び跡地整備など記載のとおりとなる。
- ・また、下段の工事工程表は、令和7 年度から令和8 年度の詳細を記載したものとなる。
- ・以上が現時点で検討した基本設計の内容となる。

【委員長】

- ・説明があった内容について、質問や意見を受けたい。

【委員】

- ・今回2階の部分について相談だが、多目的ホールの活用方法を色々考えてみたが、今学校が抱えている大きな課題として、令和7年度に向けて部活動を地域移行するという課題ある。
- ・これは全国的にそのようになり、うちの学校で言うと野球部はグローブだとかバット、ボールを持っていけば、敷地のあるところで練習ができるが、吹奏楽部は大きなティンパニーやバスドラム、木琴など、子供が持って練習に行いけないものがたくさんある。
- ・多分駄目だろうとは思いつつ話しているが、多目的ホールを練習の場所として使わせていただけないかというのと、その場合に毎回楽器を運んでくるのは不可能に近い。
- ・例えばこの図面でいくと、2階にスタディコーナーがあるが、1階にも学習できるスペースはあるので、ここに大型の楽器を収納させていただいて、多目的ホールで練習する。
- ・もしくは、左の倉庫もいろいろ物をしまおうとは思っているが、ここに楽器を保管して子供が使うことができれば、今、深川小学校だけ吹奏楽部があるが、少年団化されれば親の送迎とかで一己小学校などの子供も一緒に活動することができるのではないかと考えた。
- ・ただ、楽器を置きたいとなると、例えばほかの活動団体も道具を置かせてほしいとなることから、特別扱いは難しいと思うが、学校として抱えている課題が地域移行ということになる。
- ・指導者がすぐいる訳ではないが、地域の少年団として活動するとなれば、学校を使うことが難しくなる部分もあるので、駄目かもしれないと思いつつ意見だが、もし検討する余地があればよろしくお願ひしたい。

【事務局】

- ・吹奏楽部の活動ということで、地域移行も含めて大変苦勞されていることは十分理解させていただいた。
- ・まず複合施設の関係では、利用に必要な機能やスペースを確保した上で、様々な意見があり、財政的な不安も心配される方もいたことから、できるだけコストの縮減を考慮し、面積も抑えるべく検討した。
- ・その結果今回示した案は、生涯学習機能はサークル活動も十分できることを踏まえた上で、現在の中央公民館より、各部屋を集約するなど面積、スペースがかなり縮減したものの。
- ・そのため、収納スペースは各部屋に限られたものとなり、例えばこぼれたりする運搬が極めて困難なものを除いては、学校もそうだが、各サークルも基本的には施設に常時保管というかたちは難しいと考えている。
- ・先ほどの多目的ホール横の倉庫は、多目的ホールが椅子などを常設しないことから、机・椅子を保管するほか、災害時の避難所を想定しているため、備蓄品も倉庫の一部を活用して置くことから、スペース的にかなり難しい状況にある。
- ・また、スタディコーナーも用途が分かれており、1階は集中して勉強する方、2階は空間を区切らず、例えば相談しながら勉強や、いろいろなお話しをできる場として設けたことから、施設の機能として必要と考えている。
- ・こういったこともワークショップを通して意見があったのでスペースを設けた。
- ・本当に大変苦勞されているところ誠に申し訳ないが、そういったスペースの関係を理解いただければと思う。よろしくお願ひしたい。

【委員】

- ・回答いただき感謝する。市としても大きな課題だと思っているので、この施設に限らずとも、いいアイデアがあった時には協力いただければと思う。

【委員】

- ・4 ページ、スタディールームのレイアウトが正方形ではなく斜めになっている理由はなにか。
- ・スタディールームの奥に付いている「○」はなにか。ここら辺の構造はどうなっているのか補足していただきたい。

【事務局】

- ・スタディールームの斜めはデザイン的なものが大きく、図面ではグレーに塗っている壁になるが、その手前に本棚を設けるため、その斜めと続く形としている。
- ・また、「○」は柱を意味しており、ロビーも同様となる。

【委員】

- ・両側の斜めの壁は本棚になるのか。

【事務局】

- ・決定ではないが、そういったイメージで造ることで考えている。

【委員】

- ・8 ページ、断面図でカフェコーナー天井が 2.5m と低くなっているのはデザイン上のものか。

【事務局】

- ・カフェコーナーはあまり開放感を必要としないことから、内装のコスト削減も含めて天井を下げる形としている。
- ・1 階のほかの部屋は 3.3m で広々としているが、その分壁の仕上げが増えるので、それらを考慮して現在の天井高としている。

【委員】

- ・そうすると多目的ホールの両脇が三角形になっているのは、天井の高さが下がってくるのか。

【事務局】

- ・多目的ホールの天井は、ハンチ梁という構造で、鉄筋コンクリート造を採用するにあたり、費用を節約するためこういった梁の形としている。
- ・10 ページの構造計画の右側にある架構イメージ図の青い部分が多目的ホールの上部になり、横に 4 本のハンチ梁を設け、引き出し線を入れている。今回はこの形状を選択している。

【事務局】

- ・ホールのような長い部屋に梁を飛ばす際は、途中に柱を設けられないので、強度の高い梁が必要になる。
- ・その際、例えば鉄筋コンクリート造では PC 工法で引っ張り強度を持たせる PC 梁や、鉄骨造などがあるが、今回のようにどの業者でも施工できる一般的な梁とした場合、こういったハンチ梁となる。
- ・若干大きく太めの梁になるが、地元業者が施工でき、高さも十分とれることから、今回はハンチ張りを採用している。

【委員】

- ・経済センターのホールは鉄骨造か。ハンチ梁は使っていないのではないか。

【事務局】

- ・経済センターの梁は把握していないが、おそらく鉄骨や PC 梁といった細くても強度が高い梁などを採用しているのではと思われる。
- ・その分コストが上がることから、今回はコストを抑えつつ地元業者が施工可能な梁を選定している。

【委員】

- ・7 ページ、右下の東立面図で、駅の広場に面しているが、駅の乗降者が施設を見た時に少し寂しいかなという感じがする。
- ・文字を入れるなど何かすると思うが、もっとにぎやかな明るい感じになればと思った。

【委員長】

- ・東側を明るい感じにとの意見のほかに、大きな窓を計画していることから防音の関係もどのような考えかお聞かせ願う。

【事務局】

- ・東側は駅前に面しているということで、平面図で言うとスタディコーナーの部分が、左側の窓の2, 3階に抜けている部分になる。
- ・こちらは1階のスタディルームとは別に、吹抜の大きな窓があるため、ある程度開放感があるなかで集まって勉強や談笑している様子が外から見えると考えている。
- ・また、3 ページの位置図で、駅側にはキッズパークが面していることから、建物の風景と併せてキッズパークによりにぎわいが演出できるのではと考えている。
- ・防音については、窓部分に関して心配される面もあるが、できる限り対策を講じながら、かつ東側はキッズパークを含めにぎわいが感じられる形で進めていきたいと考えている。

【委員】

- ・カフェの関係で、4 ページに「ロビーやキッズルームに隣接する位置に、利用者が気軽に軽飲食を楽しめるカフェを計画します」と書いてある。
- ・これはどこかの業者に頼んで本格的にコーヒーや軽食を出すのか、もしくは自動販売機とテーブルや椅子をおいて本当に気軽に休む場所にするのか、どのような形になるのか。
- ・今、喫茶店がなくなってきており、市民の方は複合施設にカフェができるという話をされていて、期待されているのかなと感じているので、その辺がわかれば教えていただきたい。

【事務局】

- ・カフェについて、まだ運営者は決まっていない状況にある。
- ・基本設計のなかで規模などがまとまってきたことから、今後関係団体と協議しながら、運営等を担っていただけたところを探していくこととしている。
- ・場合によってはカフェの運営がなかなか厳しいとなった場合には、別の方策も見据えながら、施設の趣旨でもあるロビーなどでくつろぎながら軽飲食を楽しめるものがどういったらできるか、実施設計の中で検討していくことで考えている。

【委員】

- ・太陽光パネルの10キロワットはどの程度の発電量になるのか。

【事務局】

- ・10キロワットは、現在デ・アイにあるパネルとほぼ同じ容量となるが、実際は太陽が当たっている時のみ発電するため、冬に発電する想定は難しいところである。

- ・今回は太陽光発電システムをメインにどこかの部屋を発電させるといった容量はないので、補助的なイメージで基本は普通の電気を使う。
- ・確定ではないがデ・アイの方式でいくと、一部のコンセントや照明に太陽光発電の電気を使う形も考えられる。
- ・どの部屋にどれくらい充てるかは今後検討していく。

【委員】

- ・概算事業費で、備品購入も細かいことを積み上げてはいないと思うが、学習機能の部屋については、プロジェクターやスクリーン、放送設備はホールだけなのか。
- ・各部屋の機能まで検討されているのか。スクリーンが無くても白い壁があれば見えるかもしれない。
- ・あと、中央公民館解体後の跡地整備について、去年の委員会で駐車場にすると補助金等はつかないが、何らかの形にすれば補助金がつくと説明があったが、その後どうなったのかお聞きしたい。

【事務局】

- ・まず学習機能のある部屋の設備に関しては、現段階では各部屋に具体的などといった設備を導入するかは検討中となっている。
- ・最低限というか、記載している Wi-Fi 設備のほか、プロジェクター等の設備において、いただいた例えば壁を利用すれば効率的ではないかとの意見をもとに、今後、実施設計の中で詳細を検討していきたいと考えている。
- ・もう1点、中央公民館の跡地整備は、国庫補助金を活用して整備したいと考えている。
- ・補助金の制度では、跡地を駐車場として整備する場合は、事業費に対して50%ほどの補助金が利用できる形で進めているものが8分の1程度に下がる状況である。
- ・それらも含めて、現段階ではまちなかの休憩場、または隣接する「み・らい」と連携して、多目的に活用できる広場の設置を考えており、具体については、今後関係所管と検討することとなる。

【委員】

- ・補助の申請をいつするのか忘れたが、申請時点に公民館の跡地整備も申請しないと補助を受けられないと説明された記憶があったため、どうなのかということと、まだ具体化していないようなので、それは了解した。
- ・「み・らい」とか周辺的环境整備とあわせてやるのは当然とは思いますが、有利な方法でやっていただければと思う。

【委員】

- ・前回も防災あるいはユニバーサルデザインの話をしたが、今一度この基本方針を見ていただきたいが、基本方針のコンセプトは「まなぶ・ふれあう・つながる」である。
- ・基本方針1で、エレベーターや多目的トイレ、分かりやすい案内サインなどうたっているが、本当にエレベーターはストレッチャーが入らないのか。消防が良いと言ったのか。何かおかしいのではないか。

【事務局】

- ・エレベーターは15人乗りを計画しており、出入口幅は0.9m、幅1.6m、奥行1.6mで、バリアフリー基準の車椅子が回転できる幅の直径1.5m以上を確保することで検討している。

- ・ストレッチャーに関して消防に確認した中では、背もたれを起こせるストレッチャーを使用しており、患者の症状的に問題がなければ背もたれを若干起こした形で、エレベーターを使用していただくことになる。
- ・仮に背もたれを起こせない状態の場合は、階段を使用するとの見解を消防からいただいているため、今回は、ある程度広いエレベーターを考えてはいるが、ストレッチャーがそのまま入るものまでは…。

【委員】

- ・でもこの建物で防災対応をするのではないのか。災害時に避難場所になる。
- ・そこで、今、輪島で色々出ている本当に大変な状態に陥る、体調が悪くなる、その時にどうするのだろうか。
- ・エレベーターの中にも高層マンションでよく見かけるが、トランク式の穴が開いていて開くタイプのエレベーターがあるので、それをつけたほうが良いと思う。
- ・その辺はしっかり安全対策をしないと、何あれと後で間違いなく言われる。防災計画をしっかりと立ててもらいたい。
- ・あと、先日、京都アニメの判決が出たが、あの悲惨な状況を見てこの施設は大丈夫なのか。
- ・平行に移動して手を降って助けと言える、屋外に出られる設備を作ったほうが安心である。
- ・多分3階天井に吹き抜けを介した開放窓をつけたのは消防で言われたのかと思うが、実際に煙が充満すれば本当にあつという間にフラッシュオーバーになってしまう。
- ・なので、そういう安全対策をしっかりとやらないと、ここにうたってある、誰もが利用しやすい空間にするのだと言っている。ぜひ、そういう発想でもう一度見直してほしい。
- ・コストを下げるためにいくらでも方法はある。先ほど言っていたが階高を低くすれば良い。そんなに高くなくても最低限の低さで良い。
- ・あと、つながりということでは、深川駅。今日も札幌まで行って来たが、駅に3段の段差がある。反対側はスロープになっているが、誰がこの計画をしたのか。あれはミスだ。
- ・フラットにしないといけない。後でお金がかかることをたくさんやっている。最初からフラットにすれば良い。
- ・一番良いのはJRのホームの高さに合わせることに。あそこの階段はいらない。物産館もフラットであれば、そのまま改札口から出られて、ベビーカーも車椅子も自由に行ける。そのレベルに今回の1階のGLを合わせているのか。

【事務局】

- ・今回のGLが駅の床の高さと同じ高さになるかはまだ…。

【委員】

- ・そこをしっかりと押さえないと。私は平成7年から12年ぐらいまで、栗山町の駅前再整備に携わったが、栗山は駅舎から全部フラットになっている。
- ・いろいろなことを言われたがフラットが良い、フラットが。商工会議所の人たちも一緒にフラット、フラット、フラットと。
- ・中には商店街の人でそういうものはいいわ、建築の人たちも別にいいということ言っていたが後で困る。段差があるお店は誰も入らない。だからきちんとフラットにすることが大事。
- ・それから雪の問題もある。今日も雪見ている、駅の駐車場は雪の山で使えるのは半分以下。ロードヒーティングが入っているところはしっかり溶けている。

- ・ロードヒーティングはしっかりしてほしい。
- ・そして、駐車場もそうだが人が歩くところは雪の降った時にバリア、要するに溶けたところと段差になるから面的整備が必要になる。
- ・ぜひそういったことを今一度しっかり考えて欲しい。私も加わってアドバイスするから。これはおかしいと。
- ・それから折角だから新しい提案をしよう。前から私はユニバーサルデザインと言っているが、防災対応の和室の図面を見ると入口に、多分小上がりだと思うが、段差が2段ある。
- ・平成4年から道のアドバイザー等で色々な施設でたくさんアドバイスをしたが、1番困った設計は段差を作ってしまう後で取り払いたいという問題はたくさんあった。特に高齢者施設。
- ・和室に段があって小上がり風といっても、車椅子やストレッチャーを使用するとなればフラットの方が良い。
- ・フラットにして家具として、例えば40cmの木製の段をつけて、その上に畳を敷いて和室なり小上がりにすれば良い。
- ・そこで、私が今考えているのは、その40cmの段の中に色々な物を収納できるように、また、可動式で引っ張り出せるようにして、簡易ベッドにもなるようにする。
- ・そういう商品を深川から発信したらいいのではないか。木材のまち深川をとということも。
- ・そういう発想をしっかり持って、アイデアを出して、ユニバーサルデザインを深川でやる。人に優しいまちづくりをすると、子供たちにも発信してほしい。ぜひ願います。
- ・防災計画をもう一度きちんと立ててほしい。大丈夫だとは言えないのではないかと思うので、しっかり考えていただきたい。雪の問題、GLの問題、防災の問題をぜひ願います。

【事務局】

- ・意見感謝する。大きく3つ、防災の関係、レベルを合わせる関係、雪の関係だが、貴重な意見を参考に、アドバイスをいただきながら検討していきたい。

【委員長】

- ・基本設計の概要版（案）について説明があり、貴重な意見をたくさんいただいた。
- ・ここで確認させていただくが、今回いただいた意見を取り入れ、図面づくりを進めていくと思うが、基本設計概要版（案）については、この内容とすることによろしいか。

～「異議なし」の声あり～

- ・概要について、これまでの委員会の中で大雑把な部分が徐々に形となってきた。外装や内装、設備についても皆様の意見を取り入れた中で作りあげていただければと思う。
- ・承認いただいたということで次に進めさせていただく。

(2) 市民説明会及びパブリックコメント等の実施について

【委員長】

- ・次に(2)市民説明会及びパブリックコメント等の実施について、事務局から説明願う。

【事務局】

- ・資料2、1.市民説明会は、基本設計書概要版（案）について、広く市民に周知し意見等をいただくために行うもので、(1)に記載のとおり、2月22日の木曜日、18時からと、2月23日の金曜日・祝日、13時30分からの2日間、市役所大会議室で開催する。

- ・(2) 周知方法は、市の広報誌、ホームページの掲載、新聞記事への掲載依頼など、幅広く周知を行いたいと考えている。
- ・また、委員の皆様からも所属される団体等への周知について、協力いただきたい。
- ・2. パブリックコメントは、2月8日から3月8日の30日間で実施する予定としており、記載の閲覧場所に資料を添えて、意見募集を行う。
- ・これも市の広報誌やホームページ等で周知を図りたいと考えている。
- ・3. オープンハウスは、2月2日から2月6日の5日間にわたり、JR 深川駅様に協力いただき、ロビーの一角をお借りして複合施設の検討経過や、今回の基本設計書（案）について広く知っていただくため、パネル展示を行うもの。
- ・こちらは不特定多数の方が利用する場所であり、深川氷雪祭りの期間中でもあることから、市内だけでなく、市外の方にも本事業について知っていただければと考えている。

【委員長】

- ・本件について、質問、意見があれば伺う。

【委員】

- ・先ほどの基本設計にも関わることだが、概要予算が示された。これを市民説明会で説明されるが、市民説明会は説明して終わりの一方通行なのか、何か意見を聴取する場があるのか。

【事務局】

- ・市民説明会は、こちらから説明させていただいた後に、意見等を伺う場面を設けることで考えている。

【委員】

- ・総工費が30億円近い。一部市民の中に、3階建てである必要があるのかといった声が聞かれている。
- ・それに対して、公民館を移転する、公民館機能とバスターミナル機能ということで我々は説明いただいているが、それよりも具体的な用途、公民館でこういうふうに使っているとか、そのためこれぐらいの部屋が必要といった説明の用意はあるのか。

【事務局】

- ・具体的な用途の説明については、しっかりと整理しながら進めていきたいと考えている。
- ・現在の中央公民館で言えば、面積的には、今の公民館と同様の機能を移す中で、部屋としては5部屋分を集約するなど、面積は300㎡程度縮小している状況になっている。
- ・ただ、新たに交流と交通、本市の課題として、今時点でバスターミナル等がなく、深川市立病院の前ではなかなか快適に待合できるスペースがないことから、
- ・複合施設として新たにターミナル機能を備える、また新たに子供たちのスペース、機能を含めた中で、若干面積増もあるが、委員の意見を参考に、改めて整理して説明会に臨みたい。

(3) その他について

【委員長】

- ・次に(3)複合市施設整備検討委員会について、事務局から説明願う。

【事務局】

- ・複合施設建設については、令和4年4月から委員の皆様にご協議いただき、本日、基本設計書概要版（案）について承認いただいた。

- ・ 今後は、先ほど説明した市民説明会やパブリックコメントなどにより市民の意見をお聴きし、3月末に基本設計完成を予定し、その後は専門事業者による実施設計に入ることとなる。
- ・ 資料3、検討委員会設置要綱の第4条で、委員の任期は第2条に定める事項が終了したとき、ここでは(1)の「複合施設の整備に向けた基本的な内容の検討」が終了したときまでとしており、基本設計の検討がこれに該当する。
- ・ このことから、今後、承認いただいた基本設計書概要版(案)に大きな変更がなければ、検討委員会による協議は本日を最終とし、3月末の基本設計の策定をもって検討委員会を解散したいと考えているもの。

【委員長】

- ・ 本件について、質問、意見があれば伺う。

【委員】

- ・ 説明あった部分はわかったが、佐藤委員が先ほどおっしゃったいろいろな検討材料ある。それについては、どこで私たちに知らせていただけるのか。
- ・ 例えばすごく懸念していたのが、永倉委員がエレベーターの長さの問題の話をされたときに、私も大丈夫なのかと思ったが、今日、佐藤委員からそういう話があった。
- ・ やはり1月の能登の地震に関連して、せっかく新しく建てるものに関しては、バリアフリーなどあらゆることを想定した建物になってほしいのが、市民の望みではないかと思う。
- ・ 提示していただいたことはすごくありがたいが、今の私にとっては少し煮え切っていない部分があり、その部分がスカッできるのはいつなのかということ。
- ・ 解散することに関して異議はない。

【事務局】

- ・ 意見感謝する。まず基本設計ということで、今回基本的なことを整理させていただいた。
- ・ それに基づき、今皆様からいただいた意見、さらに市民説明会等々でいただく意見をもって、今後実施設計の中で一つずつ実現可能かどうか考えて検討していきたい。
- ・ そういった実施設計がまとまれば、また皆様にお知らせしていきたいと思っている。
- ・ その際に、解散となれば今のところ集まっていただくことまでは考えていなかったが、そういった中で、お知らせして、意見があり対応可能なものは検討させていただく。
- ・ まず実施設計がまとまったときに、そういったフィードバックをさせていただくことで考えている。

【委員】

- ・ 最初の会議でもあったが、大切なのは建てた後の運営の問題だと思う。
- ・ 建物のコンセプトでいろいろされた議論が、実際にどのようにして運営するのか。
- ・ 運営の在り方について、建物整備と同時に並行していくかと思うが、どのように考えているのか。

【事務局】

- ・ おっしゃったとおりハードはこれから設計を進めていくが、同時に運営面も含めて検討していくことから、もちろん所管といろいろ協議していく。
- ・ また、こういう場ではなくても、例えば社会教育委員会議など様々な会議があると思うので、その中でも意見をいただきながら進めていきたいと考えている。

(4) その他について

【委員長】 最後の(4)その他として、質問や意見あれば受けたい。

～「なし」の声あり～

【委員長】 事務局からあるか。

～「なし」の声あり～

5. 閉会

委員長あいさつ

- ・この検討委員会を立ち上げて約2年、7回の検討委員会を、皆様と夜分遅くまで検討させていただき、誠に感謝申し上げます。複合施設の基本設計については、この後、皆様の意見が反映され図面等ができれば再度示していければと考えている。3年後にはすばらしい建物、市民の皆様の期待する建物となることを祈念申し上げ、私からの最後の挨拶とさせていただきます。

副市長あいさつ

- ・長時間にわたり検討いただき感謝申し上げます。この検討委員会は、先ほど委員長から話があったように、今日まで7回にわたり会議を開催していただいた。皆様にはそれぞれ多忙の中で時間をつくっていただき、この委員会で熱心に議論いただいたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。また、オブザーバーとして参加いただいたJR深川駅様。今日は欠席になっているが空知中央バス深川営業所様にもいろいろと協力いただいたほか、設計事業者のアトリエブंक様にもお礼を申し上げます。お陰で本日、基本設計の案をまとめることができました。今後のスケジュールについては、先ほど事務局から説明があったとおり、本日の基本設計書案をもって市民説明会等々に入っていく。そこでの意見や、今日皆様からいただいた意見について、今度はまず基本設計を決定し、それらの意見を実施設計のほうで反映させていく。どこまでできるかはこれからいろいろ検討しなければならないが、市民の皆様や委員の皆様の意見は、可能な限り実施設計の中で反映していきたいと考えている。その後、令和7年度に着工し、令和8年度の完成を目指していくスケジュール感で進めていきたいと考えている。深川市は昭和38年に市制施行しており、昨年、市制施行後の満60年ということで、人間でいえば還暦を迎えるが、その節目の年に、この新庁舎を開庁することができた。次の10年に向かってまちづくりを進める上で、今般の複合施設は中心的な事業になると考えている。そうした認識のもとで、市民の皆様に大いに利用してもらい、まちなかのにぎわいに寄与できるように、今後もしっかりと取り組んでいきたいと考えているので、引き続き皆様の理解と協力をお願い申し上げます。結びになるが、委員会を円滑に運営いただいた遠藤委員長、そして委員の皆様の協力に感謝を申し上げ、そして皆様の今後ますますの健勝での活躍を祈念申し上げ、簡単ではあるがお礼にかえさせていただきます。

【事務局】

- ・以上で第7回の検討委員会を終了する。

【以上】